

農業土木（土壌物理）

ある土の含水比 w が 0.9 kg/kg (90%), 湿潤密度 ρ_t が 1.5 Mg/m^3 であった。このとき、土粒子の密度 ρ_s を 2.6 Mg/m^3 とすると、この土の間げき率はおよそいくらか。

1. 30%
2. 40%
3. 50%
4. 60%
5. 70%

(正答 = 5)

客土に関する次の記述のうち妥当なのはどれか。

1. 客土は、作土の土性が極端に砂質であるときには適用できるが、重粘土などの特殊土壌には適用できない。
2. 客土は、作土の理化学性を改善する場合には適しているが、地耐力を増加させる場合には適していない。
3. 作土に石礫が多く、それを取り除く適当な方法がない場合、土層改良方法として客土を適用することがある。
4. 客土工法としては、客入土を泥水化し、パイプライン中をポンプによって圃場まで圧送するポンプ客土工法が最も多く行われている。
5. 客土では、客入土の運搬費よりも購入費が工事費に大きく影響し、一般に客土工事費に占める客入土購入費の割合は約9割となっている。

(正答 = 3)